

令和6年6月3日(月)

校長室より③⑦



こんにちは。

6月の<sup>ぜんこうちょうかい</sup>全校朝会がありました。朝会でも話しましたが、みんなに話す<sup>げんこう</sup>原稿までできていたのですが、今朝の朝日新聞の<sup>けさ</sup>記事を見て話す<sup>きじ</sup>内容<sup>ないよう</sup>を変えました。いじめを<sup>く</sup>苦し<sup>みずか</sup>に自らの<sup>いのち</sup>命<sup>た</sup>を絶った中学生の作文です。

私はどうしてイジメをするんだろうと思います。人にはもちろん好き嫌いがあるから、自分と合う人、合わない人がいるのはあたりまえだと思います。(中略)嫌いな人にその人達同士にしか伝わらないあだ名をつけ、平気で悪口や残酷な言葉を言っている人。それを言っている本人達は楽しいのかもしれない。でも大声で話せば皆に聞こえて周りが嫌な気分になると思います。私も聞いて、「もしかしたらこの人物は私なのかもしれない。」と思い、不安になり恐くなりビクビクしていた事があります。(中略)誰だって自分を否定されるのは嫌だと思ひ、つらく悲しいと思います。その人に対して、私はもう必要のない人間なのか、もう世界中誰一人と私をこれから必要としてくれないのか、考えてみたらとても胸が痛くなりました。

イジメは自分をどん底まで沈めます。(中略)人は一人じゃ生きていけない。だから友達をつくる。一人のさみしさが複数でいることの楽しさへ変わる。

生活の仕方とか全く同じ友達はいない。だからこそ自分がいろんな感情を知り成長していけるんだと思います。

(令和6年6月3日付 朝日新聞)

いじめは、<sup>ぜったい</sup>絶対にいけません。